

安全データシート(SDS)

作成日 : 2017年01月25日

改訂日 : 2022年04月01日

1. 製品及び会社情報

製品

製品名 ポーソーシールPLUS 専用 骨材

会社情報

会社名 シンレキ工業株式会社

住所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目38番1号

緊急連絡先 中央研究所

電話番号 044-366-1617

FAX番号 044-366-1618

推奨用途及び使用上の制限

- ・ 舗装用防草材の専用骨材。(業務用)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 (経口)	区分5
急性毒性 (吸入 - 蒸気)	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
発がん性	区分1A
特定標的臓器・全身毒性 - 単回暴露	区分1
特定標的臓器・全身毒性 - 反復暴露	区分1
水生環境急性有害性	区分に該当しない
水生環境慢性有害性	区分に該当しない

※記載が無いものは分類対象外又は分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・ 飲み込むと有害のおそれ
- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 呼吸器系の障害

- ・長期または反復暴露により呼吸器系、腎臓の障害

注意書き

〔予防策〕

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する前に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・指定された保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

〔対応〕

- ・取り扱った後、手を洗うこと。
- ・汚染された衣服を脱ぎ、再利用する場合には洗濯すること。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の連絡／手当てを受けること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の相談／手当てを受けること。
- ・暴露または暴露の危険がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

〔保管〕

- ・施錠して保管すること。

〔廃棄〕

- ・内容物／容器を関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別	・混合物
化学名又は一般名	・混合珪砂
化学式	・特定できない
成分及び含有量	<ul style="list-style-type: none"> ・① 二酸化ケイ素 80 ～ 90 % ・② 酸化アルミニウム 10 ～ 15 % ・③ 酸化鉄 5 ～ 10 % ・④ ジベンゾイルパーオキシド（略称：BPO） 0.3 ～ 0.6 %
CAS 番号	・① 14808 - 60 - 7 ② 1344 - 28 - 1 ③ 1309 - 37 - 1 ④ 94 - 36 - 0
官報公示整理番号（化審法）	・① (1) - 548 ② (1) - 23 ③ (1) - 375 ④ (3) - 1349
	（安衛法） ・① 312 ②、③、④ 化審法を準用

4. 応急措置

吸入した場合

- ・新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

- ・付着した身体部位を水で洗浄する。また、汚染された衣類を直ちに脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹼水で

洗う。皮膚の刺激が持続する場合は、医師の診断／手当てを受ける。

眼に入った場合

- ・水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断／手当てを受ける。眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合

- ・無理に吐かせないで、速やかに医師の診断／手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。気道に入ったと思われるときは、直ちに医師の診断／手当てを受ける。

最も重要な徴候及び症状

- ・製品に対する有用な情報なし。

応急措置をする者の保護

- ・有害物質に触れないように保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

- ・現在のところ有用な情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・この製品自体は燃焼しない。周辺火災に応じて適切な消化剤を使用する。

使ってはならない消火剤

- ・棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。

特有の危険有害性

- ・加熱により容器（袋）が爆発するおそれがある。

特有の消火方法

- ・危険でなければ火災区域から容器を移動し、移動不可の場合、容器周辺に散水し冷却する。

消火を行う者の保護

- ・消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用する。
- ・消火作業を行う者は、空気呼吸器等の保護具を着用し、酸素欠乏及び有害ガスから身を守ること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・流出した場所にロープを張る等して関係者以外の立入りを禁止する。作業者は状況に応じて保護具を着用する。

環境に対する注意事項

- ・河川、下水道等に飛散し、二次災害・環境汚染を起こさないように注意する。万一、公共水域へ流出した場合は必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監査官庁へ届け出ること。

回収、中和

- ・飛散したものは掃除機で吸い取って回収する。または、スコップ等々で集め回収する。
- ・密閉可能な容器に回収する。

二次災害の防止策

- ・漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。
- ・周囲の着火源を取り除き、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・眼及び皮膚に触れる可能性があるため、作業の際には保護具を着用する。

局所排気・全体換気

- ・「8. 暴露防止及び保護措置」を参照。

注意事項

- ・水濡れ厳禁。製品の硬化不良の原因となるおそれがある。

接触回避

- ・「10. 安定性及び反応性」を参照。

安全取扱い注意事項

- ・粉塵、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・眼及び皮膚との接触を避けること。
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の取扱いをしてはならない。

保管

技術的対策

- ・特別な対策は必要ない。

混触禁止物質

- ・水分との接触を避ける。
- ・「7. 取扱い及び保管上の注意」及び「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管条件

- ・湿気を避け雨等の当たらない屋内倉庫に保管すること。
- ・容器を密閉し、保管場所に施錠すること。

容器包装材料

- ・製品使用容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・作業場には、全体または局所排気装置を設ける。
- ・取扱場所の近辺に、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度

- ・製品に対する有用な情報なし。

許容濃度

- ・製品に対する有用な情報なし。
- ・日本産業衛生学会
4 mg/m³ (総粉塵) (二酸化ケイ素の成分情報)
2 mg/m³ (総粉塵) (酸化アルミニウムの成分情報)
- ・米国産業衛生専門家会議 (ACGIH) TLV - TWA
0.05 mg/m³ (二酸化ケイ素の成分情報)
10 mg/m³ (酸化アルミニウムの成分情報)

保護具

呼吸器の保護具

- ・状況に応じて、呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

- ・適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

- ・状況に応じて、保護眼鏡等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・状況に応じて、長袖作業着等を着用する。

衛生対策

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など	灰色 粒状粉末
臭い	無臭
pH	データなし
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重（相対密度）	データなし
溶解度	水に不溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

- ・安定。

危険有害反応性

- ・製品に対する有用な情報なし。

避けるべき条件

- ・水分と接触しないこと。

混触危険物質

- ・製品に対する有用な情報なし。

危険有害な分解生成物

- ・製品に対する有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

- ・製品に対する有用な情報なし。

皮膚腐食性・刺激性

- ・製品に対する有用な情報なし。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

- ・製品に対する有用な情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

- ・多量に長時間吸入すると「じん肺」になるおそれがある。

生殖細胞変異原性

- ・製品に対する有用な情報なし

発がん性

- ・製品に対する有用な情報なし

生殖毒性

- ・製品に対する有用な情報なし

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

- ・製品に対する有用な情報なし

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

- ・製品に対する有用な情報なし

誤えん有害性

- ・製品に対する有用な情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性

- ・製品に対する有用な情報なし

残留性・分解性

- ・製品に対する有用な情報なし

生体蓄積性

- ・製品に対する有用な情報なし

土壌中の移動性

- ・製品に対する有用な情報なし

1 3. 廃棄上の注意

- ・事業者は産業廃棄物（残余廃棄物、汚染容器及び包装）を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
- ・投棄禁止。
- ・その他、関係法令の定めるところに従う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	・該当しない
品名	・該当しない
国連分類	・該当しない
容器等級	・該当しない
海洋汚染物質	・該当しない

国内規制

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| 陸上 労働安全衛生法 | ・ 通知対象物質（二酸化ケイ素、酸化鉄、ジベンゾイルペルオキシド） |
| 海上 船舶安全法 | ・ 該当しない |
| 航空 航空法 | ・ 該当しない |
| 緊急時応急措置指針 | ・ 該当しない |

安全対策

- ・ 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・ 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転落、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。

1 5. 適用法令

- | | |
|-------------------|---|
| 化学物質管理促進法（PRTR 法） | ・ 該当なし |
| 労働安全衛生法 | ・ 通知対象物質
二酸化ケイ素（第 312 号）、酸化鉄（第 192 号）
ジベンゾイルペルオキシド（282 号） |
| 消防法 | ・ 粉塵障害防止規則 |
| じん肺法 | ・ 該当しない
・ 粉じん作業（二酸化ケイ素） |

1 6. その他の情報

参考資料

- GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS） JIS Z 7253 : 2012
- 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（平成 24 年 10 月）
- 製品評価技術基盤機構（NITE）
- 許容濃度の勧告 日本産業衛生会（2013）
- 米国産業衛生専門家会議（ACGIH）許容濃度（2009）

記載内容の取扱い

- ・ 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
- ・ すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをおすすめします。なお、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

記載内容の問い合わせ先

- | | |
|--------|----------------------------------|
| ・ 担当部門 | シンレキ工業株式会社 中央研究所 |
| ・ 住所 | 〒210 - 0867 神奈川県川崎市川崎区扇町 6 番 2 号 |

- ・電話番号 044 - 366 - 1617
 - ・FAX番号 044 - 366 - 1618
 - ・メールアドレス kenkyu@shinreki.co.jp
 - ・受付日時 月曜日 ~ 金曜日（祝祭日は休業） 8:30 ~ 17:30
-